

愛隣館研修センターニュース 第61号

〒 612-8141 京都市伏見区向島二ノ丸町 151 2F TEL 075-621-3849 FAX 075-621-1579

E-mail :airinday@sunny.ocn.ne.jp 振替 01020-5-39321

編集発行所：社会福祉法人イエス団 愛隣館研修センター 発行責任者：平田 義

2004年4月より

京都市南部障がい者地域生活支援センター「あいりん」

!!ニューアル致しました!!

2002年10月に京都市からの委託でスタートした、障がいのある方の相談支援事業・「障がい者生活支援センター『あいりん』」が、この4月より「京都市南部障がい者地域生活支援センター『あいりん』」として生まれ変わりました。京都市を5つの福祉圏域に分け、「あいりん」では醍醐地区を除く伏見区全域の障がい児・者とその家族等の地域生活を総合的に支援することを目的として業務を行うこととなりました。

そこで今回は、主任相談員である太田正人さんに、「あいりん」での様子や課題などについてインタビューを行いました。

(@_@) 「この4月から何か変わったことってありますか？」

太田 「新しい相談員が増えたんですよ～」

(@_@) 「どうですか？」

太田 「がんばってますよ～！あと、事務所が新たに移転しました。」

(@_@) 「ほう、どんなところですか？」

太田 「保育園の隣にある建物の一室を改装したんです。高級ソファと社長机はなかなか快適ですよ。保育園の園庭に面しているので、子どもたちとの交流も楽しんでやります。」

「あいりん」で電話相談を受ける太田相談員

(@_@) 「えらい余裕ですねえ！ところで仕事の内容は何か変わりましたか？」

太田 「そうですねえ、これはオフレコですが福祉事務所のCWが4人中3人が異動になったんです。そこで、まわってくる仕事が増えたような(^_^)でも、前々から“支援費の支給決定だしといたんで、事業所の手配はるしく！”とか“今窓口相談に来てるけど、そっちに行ってももらいますからよろしく！”は日常茶飯事やったんですけど・・・」

(@_@) 「ほう、期待されてるんですねえ！」

太田 「まあ、どっちが相談にのっても利用者にとって結果が同じであって、ニーズに応じていければいいんですけどねえ(^_^)~~ (@_@) 「今、何か悩んでいることはありますか？」

太田 「そうですねえ、これはオフレコなんですけど新しい相談員との関係を怪しまれているんですよお～いや～冗談ですけどねえ(*^_^*) いや、ほんまのことは、まだまだ支援センターの働きが理解・浸透されてないところがあって、新たに関係を作っていくようにする時に、困難に感じる場合がありますねえ。あと、ニーズはいっぱいあるんですけどサービス提供してくれる事業所がなくて、探すのに一苦労なんですわあ！」

(@_@) 「相談業務で大事にしていることは何ですか？」

太田 「事業所にサービス提供を依頼し、受けていただき、その後サービスが始まるわけですが、始まった後の事業所へのフォローを大事に考えて取り組んでいます。自分の組んだプランの振り返りにもなりますしね！」

(@_@) 「最後に今後の抱負を聞かせてください」

太田 「そうですねえ、3年後にはN会さんに業務委託して、看護師免許とりに南の島にでも行こかなあって思っています(^_^)v っていうのも半分冗談ですが、これまでと同じように、一つ一つの相談を真摯受け止め、障がいを持つ方とその家族とが地域で豊かに暮らしていける一助になれるようにと願っています。」

(@_@) 「ほお～、最後は真面目ですよん！今日は、お忙しいところありがとうございました。」

京都市南部障がい者地域生活支援センター『あいりん』

受付時間

月～金曜日 11:00-19:00

土曜日 11:00-17:00

日曜日・祝日 休館

TEL 075-604-6159 FAX 075-604-6155

E-mail airin@athena.ocn.ne.jp

行ってきました!! デイサービス・シサム合同企画!! 初夏のお出かけ in 神戸ワイン城!!!

6月2日(水)に初夏のお出かけに行ってきました!
 デイ・シサム利用者32名、スタッフ43名、総勢75名の大移動!! 行ってきマース!
 そして舞台は…広大なブドウ園と巨大なバーベキュー場、ラマ・ウサギ・羊等の動物とふれあう
 ことの出来るふれあい牧場、そしてワインが出来るまでの過程を見学できる自然一杯の神戸ワ
 イン城でした!!

観光バス2台とセンターの車5台を使い、いざ出発!!車に揺られ約二時間、着くやいなやすぐさま
 オリエンテーリングが開始!(あれ?でもまだ車一台到着してへんやん!)話によると途中で道
 に迷って遅れたそうです…(^_^;)

1:さわって何でしょう? 2:ばらまき材料探し 3:「大きな歌」の替え歌、といった課題をたくさんの蚊に血を吸われつつ(かゆーい!)
 グループごとで考え、広場で発表しました!

特にバーベキューの材料が決定してしまう材料探し発表では色んな意味で修羅場でした(笑)。また大きな歌の替え歌では各人の個性がぶつかり合い大盛り上がりでした!(中には発表に緊張気味のスタッフも…笑)

♪グループソング♪で大爆笑!!!

本日メインの昼食は野外でバーベキューを満喫(食事中居眠りするTさんもこの日は食べるのに夢中でした 笑)

帰宅までの自由時間ではおみやげにワインを買いに行く人(ワイン試飲コーナーで色んな味のワインを堪能)、広ーいブドウ園を散歩する人(汗だらだら!)、まだお酒を飲んでる人(Mさんあなたです!)等いろいろな人がいました!そしてまたバスに乗り込み無事に帰ってこることができました!

はいチーズ!

デイ・シサム合同でのお出かけは僕は初めてだったわけですが、みんなででかけることはやっぱり楽しいです!また今回の反省をいかして次の楽しいお出かけにつなげていきたいと思えます。(榊井)

障がい児・者ホームヘルプ事業「ゆーりん」報告

やっぱりおでかけていいもんだぁー移動介護部門ー

～ほっこい編～

毎週土曜日は主にお出かけの支援をしています。「カラオケ行きたい」「プールに行きたい」「お出かけ大好き(特に行きたい場所の希望はないけど…)」と様々なニーズがあります。

さて、ある日のお出かけの様子をのぞいてみましょう。J君は以前、お出かけの経験があまり無かったのか、両親と離れる時や電車に乗る時にパニックになり、少しスリルのあるお出かけでした。それから何度か経験していく内に「お出かけて楽しい」と思ってくれたようでした。当日「さあ出発しましょう」という声かけに「待ってました」とばかりに、さっと身仕度をして外へ!(以前の様子を知っているスタッフは少し緊張気味でしたが…笑)担当ヘルパーK君は心も体も大きな青年です。J君との波長もなかなか良い感じです。

おでかけていいもんだぁ

現地ではまずJ君が落ち着く場所を見つけたようで、そこを拠点に館内を散策することになりました。K君は一生懸命に「あっちいってみようか?」「おみやげ買って帰ろうか?」などと提案します。しかしJ君は(?)という感じでウロウロ…。K君は困ってしまい「…ま、いっか」と諦めてしまいます。そんなやりとりをしつつも、J君の拠点でちょうど大道芸が始まりました。J君は案外気に入ったようでニコニコと芸を見ている。その隣でJ君以上に大道芸を楽しんでニコニコしているK君…。J君はそんなK君に今日一番安心したのかもしれないなあ…とほほえましく遠くから見守っていた私…。ちょっと寂しい29歳かも(!?)でした。J君もK君も私もその日一日でたくさんの経験をしたのでした。(丸山)

居宅支援にて…

始まったばかりの頃は家を出る時まで薄暗かったし、息も白かったような…。
 そーっと玄関のドアを押し開け、忍び足で枕元へ。
 まずは小声で「おはよう」「朝ですよお〜」。それでダメならゆさゆさ揺らしたりコチョココチョコをしてみたり…。
 早起き五人衆の中でも最年長スタッフ“お母ちゃんより怖いヘルパー” ゆえ、ウタクシは容赦しません。背中を向けて寝返った瞬間、お尻をぺんぺん!!
 かくして嫌々ながら大あくびと共に起きあがった今時の女子高生に「金曜日の朝はきびしいやろ?!」なんておどしつづ、身仕度を促す。
 とはいえ、いつもの朝の風景にあって改札口に吸い込まれている後ろ姿は、我が娘を見送るようでちょっと甘美な気分を味わわせてもらっている。
 ナンダカンダで支援開始は現在 6 時 40 分! となり、スタッフも前夜から緊張気味。そのせい
 かどうか、「間違っ隣に侵入し、おじさんと鉢合わせ」なまあんて笑える(?) 事件も発生。こうご期待!

ゆうりんホームヘルパー事件ボより (坪内)

重症心身障がい者通所事業B型「シサム」報告

3年目突入!「シサム」

今年度も新たに岩山尚史さん(呉竹養護学校卒)がメンバーとして加わりました。笑顔がとともチャーミングで、アイドル的な存在のなおくん。これからもよろしく願います。
 スタッフも篠原文浩さん・黛共子さんが増えました。今回は篠原さんに3ヶ月を振り返った感想をインタビューしてみました。

Q.シサムに来て3ヶ月過ごしての感想を

いそがし〜い! 体へろへろ! でも、楽し〜い!

Q.どんなところが楽しいですか

利用者さんとのコミュニケーション、やり取りが一番楽しいよ!!

Q.利用者さんのどんなところが好きですか

まず、何に対してもストレートなところ。好きなこと、嫌いなことを素直に表現してくれるところかな。それと、いろんな障がいがあっても、自分に向き合って、それぞれ懸命に生きているところが好きです。

こんにちは!

Q.3ヶ月の間で一番印象に残ったことは

なによりも、養護学校で一緒だった小中君、福田君、柳本君らがそれぞれ大人になっている様子に感動!!

Q.最後に一言あれば

もっと勉強して、一人一人とお互い知り合いながら、より良いサポートを心がけたいです。
 我々スタッフは常に利用者さんと共に歩み、利用者さんの気持ちに応えていけるよう、頑張りたいと思います。

また5月より、医療・福祉・保健・教育ネットワーク京都・大阪を集約すると共にさらなる広がりを目指して、「医ケアネットワーク近畿(保健・教育・医療・福祉)」として再スタートを切りました。「シサム」は京都支部の事務局を置いています。

日常的に医療的ケアを必要としている人たちの生活がより豊かで安全なものとなるよう、保健・教育・医療・福祉の関係機関等が、意見・情報・技術・制度・人的交流を通じたサポートを目指し、活動しています。そして近畿から全国に向けて「障がいが高く、医療的なサポートを必要としても、当たり前前に地域で豊かに安全に暮らしていける」ことについて、これからも発信していきたいと思ます。(井桁)

2004年4.5.6月の活動

- 4/5.6.7.9 お花見(デイベース) 今年は全日、満開と快晴で大盛り上がりでした! 花より→
- 4/10 バリアフリーネットワーク 交流会と銘打っての初会合!D氏手作りキタ最高! 宇治茶7/7
- 5/9 医ケアネット近畿 in 大阪転職された代表のS氏!なぜかいつもの鋭い切り口が…!?
- イエス団京都ブロック会議 ブロック内の施設間情報交流と今後の展開について話し合われました
- 6/12-13 イエス団中堅職員フォローアップ研修 六甲YMCAは山の上にあります。寒いです。圏外です。
- 6/13 SIEA 選考会 4名の研修生がイント・フリップ・タイの各地へ
- 6/14.15.16.18 デイ・シサム合同企画 久しぶりに復活のクッキング企画!今回は和菓子と本格お抹茶!
- 6/18 同志社女子高校花の日訪問 きれいなお花をありがとうございました
- 6/18 バリアフリーネットワーク 宇治小事件で宇治市と交渉(6/3) 報告と今後の裁判の行方について検討しました。 ↑お抹茶でほっこり

2004年 夏期献金のお願い

—これからの“地域”を見据えて—

《夏期献金・要項》

当センターが、この向島の地に誕生して
から、早くも25年が経過しようとしていま
す。今日まで、皆様方のご理解とご支援に
よって支えられ、活動を続けることが出来
ましたこと、心より感謝します。

〈地域〉の中で「障がい」を持つ方、お
年寄りや子どもたちが安心して暮らしてい
くための手助けとなれるよう、色々な人々
と様々な活動に取り組んでまいりました。
その中から具体的なひとつの事業として、
身体「障がい」者デイサービス事業を展開
することが出来るようにもなりました。

そして、それらの活動ひとつひとつを通
して、またその中での様々な出会いから、〈地
域〉というものをキーワードにした生活支
援システム「向島障がい者地域生活支援セ
ンター『遊隣』」をたちあげることになり
ました。

2003年4月、支援費制度が導入され、社会
福祉制度が大きく変わっていかうとも、障
がいを持つ人のみならず、すべての人が大
事にされる社会を目指して歩んでいきたく
と願っております。

これまでも皆様方には多額の献金をして
頂いているにもかかわらず、新たなお願い
をさせて頂くのは、誠に恐縮ですが、ご理
解くださり、ご協力をよろしく願います。

目的

障がい児・者とその家族とが地域で安心して暮らし
ていくことができるために、愛隣館研修センターの今
後の活動を支援する

夏期献金 目標金額

1,000,000円 ※ 口数、金額ともに任意です。

送金方法

※ 以下の口座をご利用ください。

郵便振替

01020-5-39321

口座名：社会福祉法人イエス団 愛隣館研修センター

★お知らせ★
☆チャリティーコンサート☆
2004年9月1日(水)
午後6時
コベラッハ市民プラサオーケ
ストラ交流の夕べ
|京都市立桃山高校ブラス
バンド友情出演|三呉竹文
化会館
入場料大人2000円
(高校生以下500円)
国際交流とアフガン難民支援
を目的に開催いたします。愛
隣館研修センターも共催団体
として参加致します。是非ご
来場ください。
▽愛隣館研修センターは、八月
十六日～二十一日まで夏期休館
日とさせていただきます。
☆障がい児・者ホームヘルプ事
業「ゆうりん」では、ヘルパー
を募集しております。障がいと
いう豊かな個性を持つ人達と素
敵な夏を過ごしませんか？問合
わせはセンターまで！
★編集後記★
▼断念せず新聞発行にこぎ
つけそうです▼個人的にはよ
うやく落ち着きを取り戻しつ
つ：落ち過ぎたりして：▼支
援費制度開始一年が経過しま
した▼利用者ニーズ急増に「や
る気」が触発される今日この
頃です(さ)